

| | | |
|---|--|---------------------------|
| 職位/Position 教員氏名/ Name 中村智香・助教 | オフィスアワー/Office hours S1, S2 水曜日 (2限、昼)、金曜日 (昼) F1, F2 火曜日 (昼)、木曜日 (2限、昼) | 研究室/Office number F215 |
| 教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity | | |
| 日本アロマコーディネーター協会(JAA)、ナード・アロマセラピー協会(NARD JAPAN)、 日本アロマセラピー学会(JSA)、日本薬学会、日本化粧品学会 | | |
| ゼミ名/Seminar | | |
| 香り・におい研究ゼミ | | |
| 2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies | | |
| 香りの知識、活用技術を身につけるため「アロマセラピー」の履修を勧める(3年次以降の履修も可)。 | | |
| 研究指導内容とその進め方/Teaching system and content | | |
| I. 初年度(3年次)/First year(third-year students) ・幅広い視野で香りをとらえる 香りは、癒しだけでなく、生態系、食、医療や福祉、ビジネス、6次産業、デジタル分野などさまざまな分野に関連がある。3年次は香りについて幅広い視野で学びながら各自の卒業研究テーマを決定する。 ・ディスカッションを重視する ディスカッションやパワーポイント発表を行い、積極的に自分の考えを伝えること、他者の意見を聞くこと、疑問を解決することなどを身につける。 | | |
| II. 次年度(4年次)/Second year (fourth-year students) ・卒業研究を行う 文献調査や香りを用いた実験など、卒業研究を行う。他ゼミや他学部との連携を検討することもある。 ・ディスカッションを重視する 3年次同様、ゼミ内で繰り返しディスカッションやパワーポイント発表を行う。 | | |
| III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others ・3、4年次の取り組みを卒業論文にまとめる。 ・進路指導、就職指導も必要に応じて行う。 ・アロマセラピー関連資格(アロマコーディネーター)取得希望者は個別に対策指導する。 | | |
| 教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books | | |
| 必要に応じてゼミ内で案内する。 | | |
| ゼミライフ:(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) | | |
| ゼミ生自身が工夫して、充実したゼミライフを送ることを期待する。 | | |
| ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments | | |
| 香りやにおいに関心を持ち、自身や社会での活用の可能性を探してほしい。 ゼミ生同士コミュニケーションをとり、活発に意見交換することを期待する。 遅刻や欠席はしないこと。 | | |